

# とやま県プラ

## ■北陸新幹線のドキュメント■ Now!!



黒部宇奈月温泉駅工事進行状況



新富山駅工事進行状況



新高岡駅工事進行状況



一足先にミニ北陸新幹線運行 in クロスランドおやべ



立山(雄山) ～山頂 雄山神社より撮影～

## CONTENTS

- 2 会長メッセージ
- 3 定期総会
- 4 トップインタビュー
- 7 シリーズプラスチック業界：提言
- 8 シリーズ海外経済・世情
- 10 総務委員会レポート
- 12 技術委員会レポート
- 15 研修講習事業報告
- 16 会員広場
- 17 会員企業による景況調査
- 18 プラスチック関連データ
- 19 共創



## 事業発展の鍵

富山県プラスチック工業会  
会長  
笠井千秋



今年度の国内経済見通しについては、4月からの消費税アップの影響が予測に反して小さく、ポイントは長引くデフレによる停滞からの脱却の最後の切り札である成長戦略の具体的な実行状況やその効果に懸かってきております。

6月13日に公表された政府方針では、いわゆる岩盤規制のいくつかに風穴をあける規制改革が打ち出されており、法人税実効税率の20%台への下げをはじめ、雇用、農業、医療・福祉等の分野で方針が固まりました。今後この骨太の方針に基づいて、具体的な法令細則に展開されることになろうが、注意しなければならないのは、本質は細部に宿るといわれる中で今まで規制の恩恵を受けてきた勢力による骨抜き策であり、最後まで検証が必要であります。

当業界に関してもこの規制改革の恩恵を最大限享受し、事業拡大に結びつけることが出来るはずであり、業界団体としても、その事業計画の中に施策として反映してゆく必要があります。

さて、5月に北陸経済研究所から「北陸のプラスチック製品製造業の現状と課題」と題した調査結果が発表されましたが、地域内の高い数値カバー率、時系列での分析などの定量情報と共に、主要企業からのヒヤリングによる定性情報をベースに分析がなされており、今後の業界を展望するについて大変参考になりました。同所の了解を得てポイントを以下に要約しました。

「北陸のプラスチック製品製造業の特徴としては総じて企業規模は小さく、一事業所当た

りの従業員は33.2人(平成4年24.4人、平成14年30.3人)出荷額は745百万円(平成4年513百万円、平成14年620百万円)となっています。受注生産が主であり、価格決定権がなく、低収益体質を余儀なくされています。自社製品については、販路開拓、在庫リスクがあり、日用品であればある程度事業拡大は可能であるが、自動車、電機分野で完成品の自社開発・自社販売展開は容易ではありません。

そうした現状を踏まえ、業界の今後については、国内では需要縮小の中、新たな需要獲得を目指した新素材の開発、新分野への進出、また多品種少量生産への対応のため、効率化・省人化などの最新鋭の設備投資と共に、受注生産では国内顧客への技術革新を前提とした新製品・新製法による提案力を強化することが必要となります。一方海外進出については事業拡大を目指す上で重要であるが、日系の既存顧客だけではなく現地での新規顧客開拓も合わせて実行すべきである。」という指摘でありました。

企業運営は常に業界全体の現状と課題、自社の現状と課題を冷静に分析した上で、今後の戦略を立案し具体的な戦術に落とし込むことが求められます。そして、事業発展の鍵は、こうした現状分析を基に今後の課題達成に向け、経営全般を通じて能力を発揮できる人材育成にあることは言うまでもありません。

当工業会としても、引き続きこうした視点で会員企業の皆様に役立つ活動を進めてまいります。会員企業の皆様の更なる事業の発展をご祈念申し上げます。

## 平成26年度 通常総会開催



総会：笠井会長挨拶

### ◇ 総会

平成26年度通常総会が5月28日(水)午後3時から富山第一ホテルにて開催された。はじめに笠井会長より開会の挨拶があり、議長を笠井会長に選出して議案審議に入った。

- 議案は、 第1号議案「平成25年度事業報告の件」
- 第2号議案「平成25年度収支決算報告・監査報告の件」
- 第3号議案「平成26年度事業計画(案)の件」
- 第4号議案「平成26年度収支予算(案)の件」

を諮った結果、原案どおり可決承認され、総会審議を終了した。

平成26年度は県民待望の北陸新幹線開通が1年を切り、その効果を引き出すための準備を粛々と進める大切な時期となる。また、グローバル化が足早に進んでいる現代において、当工業界の英語名称が決定された。国内での活用はもちろん、海外でのビジネス交流の場等々で積極的に活用して行きたい。

### ◇ 記念講演

本年度の総会記念講演には、経済産業省中部経済産業局 電力・ガス事業北陸支局地域経済課長の中川様のご尽力により、本省の製造産業局自動車課 統括係長の小松 正明様が「自動車産業の現状と今後の展望」と題してご講演をされました。自動車産業は基幹産業として絶大な広さや重みを持つ中で、大きく対峙している課題や、社会との融和を進めるための施策等々をご高説して下さいました。聴講された方々にとって大変貴重な内容でした。小松様にはこのご講演来訪の機会を活かして、富山県の自動車製造メーカーを視察訪問されました。本省の方に富山県の製造業を実際に知って頂く良い機会になったことを喜びたいと思います。



経済産業省 小松 正明様のご講演

### ◇ 懇親会

引き続き懇親会が開催され、約60名余の会員や関係者が参加した。笠井会長の開会挨拶に始まり富山県商工労働部 佐野部長の乾杯のご発声のあと、和やかに歓談の輪が広がった。名刺交換をはじめ、会場で親睦の輪がさらに広がる中、名残惜しみながら延澤副会長が中締めをしてお開きとなった。



和やかに歓談の輪が広がる懇親会



## 社員の人材育成は付かず離れず、期待と愛情を込めて 優れた教材と取り組み環境を提供する

高陵プラスチック工業株式会社  
代表取締役社長 高橋秀樹氏



父(現会長)が当工業会副会長として37年間務められた後任として平成17年度より当工業会副会長に就任され、今年度で10年目を迎えた高橋秀樹氏に、社業と経営采配をはじめ人材育成の取り組みなどを伺い、併せてお人柄や社員への期待などをご披露して頂きました。普段から奥ゆかしい表現をされる言葉の内に込められた思いの深さなどをご紹介します。

【インタビュアーは

編集委員で三光合成株常勤監査役 奥村三七太氏】

### ◆まずは、創業の経緯と社業・社歴をご紹介します

当社の実質的な創業は昭和26年(1951年)に遡り、父と母が二人で鍋やかんの持ち手をベークライト樹脂で成形加工を始めたのがスタートです。創業地は高岡市のJR高岡駅のすぐ近くの南西側でした。やがてこの地域は住宅地として発展したため、昭和42年(1967年)に現在地に本社工場を移転しました。

父(現会長)は大正9年(1920年)生まれの93歳で、高岡工芸高校の化学科に入学・卒業して東京の日本化成(現、三菱化成)に就職し、その後、ご縁があって商工省大阪工業試験場に転職し、ブタジエンモノマーの合成からゴムの重合研究に関わりしました。これが後に合成樹脂を社業とするきっかけになりました。昭和16年(1941年)に第二次世界大戦が勃発したため入隊しました。そして敗戦を迎えて故郷に帰って来ました。

高岡は伝統工芸品である「高岡漆器」を地場産業としていて、木工生地を常用製造していました。そんな中、「サクラ化成」が当時最先端材料であったプラスチックを成形して、漆器の生地として活用する事業を始めることになりました。その会社に父が就職しました。しかし、もともと輸出が中心の商品だったため、敗戦による輸出難で行き詰りました。結局、「サクラ化成」の代表である老子社長から父に、機械設備を譲るから一人でプラスチック成形加工事業をやってみな

いか、と言われました。この話を受け入れて、父は独り立ちすることになりました。

昭和24年(1949年)に高岡市で博覧会が開催されました。その時、寿司を作って売っていたある露天商から、おにぎりの型枠をプラスチックで造って欲しいと頼まれて製作してみました。結果は、有り難いことに大変良く売れました。

その後、建築業界のアルミサッシ製造が活況になり、そのコーナーに組み付ける樹脂成形部品の成形事業をやらせてもらいました。他にも、地元や県外から樹脂成形加工の仕事を受注していました。当時、富山県内でアルミ産業が急成長しており、既に鍋やサッシを製造販売していた北陸軽金属工業株をはじめ、地元アルミ産業各社に対する当社の売上の90%が、アルミ製日用品に組み付ける合成樹脂部品で占められていました。

昭和43年(1968年)には、県の「中小企業合理化モデル工場」に応募して指定されました。これに続いて昭和47年(1972年)に中小企業庁の「合理化モデル工場」に指定されました。主な対応条件・内容は企業見学の受け入れで、注目してもらえた要素は、当時では最新鋭の自動取出機を使って量産成形をしていたことです。

金型製作事業は創業時から取り組んでいます。社内からの金型の注文を取ることは勿論、他社(外部)からの注文も請けています。“今のお客様を大事にする”ように、日々指導をしています。

産業経済の荒波を乗り越えて現在があり、そのメインの量産製品は建材部品、OAハウジング/筐体、新製品ではタバコ産業向けのもの等があります。プラスチックの素材や製品が時代と共に変わること、創業時代のベークライト(熱硬化性樹脂)から現代の主流である熱可塑性樹脂への変遷ができた社歴になっています。

工場は建設してから50年を経過しているため、今年はかなり額の投資をして成形加工と倉庫のための新

しい建屋を造る予定です。

### ◆経営方針及び父上から学ばれたことなどをご紹介します

父の後を継いで42歳で社長に就任しましたが、最初は断りました。しかし、請けざるを得なかったというのが実情です。その父から、会社経営に関して何かを教わったという実感は、正直言って特に無いと思っていました。むしろ同業他社の経営戦略、特に三光合成株の基本戦略を注目して参考にしました。すなわち、大冒険をすることは志向せず、今取り組んでいるビジネスフィールドから“浸み出す”程度の業容拡大を旨とする戦略です。

平成14年(2002年)には1500万円ほどかけてABS積層造形機を買って事業を始めました。モデルを造ることができるため、受注活動の大きな支援になりました。ところが、重宝な成形法ですから顧客が内製を進めることになり、しかも資金力も人的資源も豊富にあるため、大型で高額の積層造形機を買って内製を始めました。お客様が最大の競合者になるという、宿命的なパターンです。それまで自社の積層造形機で儲けるメリットは享受しましたが、年間のメンテ費用の負担も大きかったため、結局売却してこの事業も縮小しました。

現在最大の悩みであり課題は、国内市場が縮小を続ける中でどのようにして生き延びるのか、また、5年後にはどのような企業運営をするのか、ということです。自社の規模・力量に応じた事業を土台にして、日々新たなビジネスチャンスを探り起こして行かなければなりません。

事業に関する方針としては、納期・品質を守ることには当たり前のことで、さらに細かいところまで注意を凝らし、目が届くようにしております。また資源を大切に活用する方針も展開しており、ISO14001認証取得のお蔭で廃プラの利用やりサイクルの取り組みが大変活発になりました。

もう一つ、自動化を徹底的に進めています。成形部門では人が減ることはあっても、増やすことがなかなか難しい時代です。このため、自動ゲートカットの活用には特に優先して取り組み、小ロット生産で無い限り、全て自動化を進めています。

### ◆社員教育・人材育成をどのように進めているかをご紹介します

企業の社会的責任として「人を育てること」に特別な思いを持って取り組んでおります。その一例ですが、工場のすぐ横を川が流れています。この川は1週間でゴミだらけになります。この流れ着くゴミを社員全員で拾うクリーン作戦を展開しています。ささやかながら地域貢献になればと、全社一丸で取り組んでいます。そして、このような活動を通じて社会に対して思いやりの深い、社会観のしっかりした人を育てることに傾注しております。

人手不足になることもあって、現有社員を戦力アップしなければなりません。社員教育の柱は、ハード・技能検定・管理者教育の3つを考えております。社員一人一人の調子や仕事ぶりを知って励ましに努めることも私の大事な仕事と考えておりますから、日勤者には朝8:30~9:00、夜勤者には16:30~17:00に挨拶と声掛けを精力的に実施しています。ささやかなことかも知れませんが、きっと向上心を育てる原動力になっているものと信じております。



課題レポートを前に熱く語る

今、社内では課長が順番に有名通信教育会社の教育を受けて、真剣に取り組んでいます。この通信教育

はテーマが多く、次から次へと新しい課題が提起されるため、学習のやり甲斐があります。現在3人目の課長が受講しています。毎月私の手元に課題レポートが届くので、これをしっかり読んで理解し、行き過ぎない程度に期待と愛情を込めてアドバイスを重ねております。

以前にクレームを出してお客様に迷惑をかけたことがあります。その時、金型技術関係者を含めて総出で切り抜けました。お客様はこの対応や責任感等を高評価して発注を続けてくれています。後継者にはクレームを出さないことを最優先で業務に取り組んでもらうが、お客様からの信頼の大切さを常に意識して、会社の宝として育て続けて欲しいと思います。今、30代前半の息子が入社しておりますが、特にこの大切さを継承して欲しいと思っています。

ここで今日のインタビューを受けて改めて思ったのですが、父から教えられる立場にありながら、“特にこれという教えや指導を受けたことがない”とこのことを申し上げました。ところが、実際に私がやってきた





様々な思いを込めて

経営采配のかなりの部分を、実は父から“言葉”を越えて多くのことを学んでいたことを改めて実感しました。

言葉そのものより、普段の立ち振る舞いや表情、態度などから重要な事柄を多々教えられていたことを改めて感謝します。

#### ◆座右の銘や趣味などをご紹介下さい

座右の銘としてご紹介できるものは特にありません。ただ、ロシアの女性で、日本で禅の修行をしている方が、“人生は終わりのない道”と表現した、このフレーズは不思議と心に残っています。

趣味とは言えないかも知れませんが、身体を動かすことが好きで、スポーツジムに通って身体を鍛えています。また座禅が好きで、市内の名刹で土・日の6:30~7:30に開催される座禅会に参加しています。

#### ◆最後に、今年度から役員として担当される技術委員会の活動についてご意見等をお聞かせ下さい

私自身も若い時に当工業会の技術委員を請けていたことがあり、当工業会副会長として技術委員会の担当役を請けることになったのは、何か特別なご縁があるものと考えております。この意味で、毎年企画開催される盛り沢山の技術関連研修会を盛會に導き、中身の充実に適時アドバイスをしたいと考えます。

またセミナーや研修会に関して、富山県は地域的なハンディがあります。東京や名古屋、大阪及びその近辺に住んでいれば、貴重な展示会やセミナー等を頻繁かつ何度でも見学聴講に行けます。このような富山県のハンディを少しでも減らせるように、研修会の企画運営を工夫できれば嬉しいです。

#### 《インタビュー後書き》

ご多忙の中、長時間にわたり貴重なお話を聴かせて頂きましてありがとうございました。普段はこのような踏み込んだお話を伺う機会がなかったため、時間が経つのも忘れて終始新鮮な気持ちで拝聴致しました。その深い内容を限られたページに納める制約がありましたが、行間に込められた文意も汲んで頂ければ幸いです。

益々のご健勝とご発展をご祈念申し上げます。

#### 会社概要

- 高陵プラスチック工業株式会社
- 所在地 高岡市西藤平蔵1312
- 代表者 高橋 秀樹
- 創業 昭和26年(1951年)4月
- 資本金 30百万円
- 年商 10億円
- 従業員 80名
- 認証 UL規格認定工場 ISO 14001
- 事業内容 プラスチック成形品の製造販売及び関連業務
  - \* コンピューター関連部品 \* 外観品
  - \* 電気・工業関連部品等 \* 記念品・日用品関連部品
- 特色 CAD、CAMにより新製品開発と金型製作、成形組立までを一貫して行う技術集約型企業

#### 経歴

- S23.7.23 生
- S46 日本大学卒業
- S46 松下電工株式会社
- S49 高陵プラスチック工業株式会社
- H2 代表取締役社長就任
- 現在に至る



高橋社長とインタビュアー

ISO 14001 JAC® JAB ISO 9001 RECORD

**高陵プラスチック工業株式会社**

〒933-0824 高岡市西藤平蔵字内川原1312  
TEL(0766)63-5656(代)  
FAX(0766)63-5658

**SAITO**  
Plastics Molding / Package & Parts

**株式会社 齊藤製作所**

富山県富山市下大久保61 〒939-2251  
☎(076)468-2727 FAX(076)468-3911

### 製造業の新たな潮流

最近の製造業に関する米国発の話題は、生産拠点の米国内への回帰「リショアリング」である。ゼネラル・エレクトリックやキャタピラー、アップルといったグローバル企業が、中国をはじめとした新興国から製造拠点を米国内に再び戻そうとしている。

第2の話題は、第2期オバマ政権が、先進製造技術の開発を科学技術政策の中で最重要施策としたことだ。年間2000億円以上の予算を投入して省庁横断的な研究開発を進め、情報技術や先進材料、物理学や生物学の知識を駆使して、スマートで省エネルギーな製造技術の開発を狙っている。また、技術開発の推進と同時に、3Dプリンティングや次世代パワーエレクトロニクス製品などのプロトタイプ作製や量産技術の確立を行うマザー工場的な機能も併せ持つ研究開発拠点の整備を進めている。既に5カ所整備されているが、このような開放型製造イノベーション研究所を45カ所にまで拡大しようとしている。

米国における製造業は、研究開発に対する支出比率や有効需要の増加に対する国民所得の増加割合(乗数効果)、平均給与、生産性向上率のいずれもが他部門より高く、今でもその存在は大きい。米国を起源とした新しい技術が数々のイノベーションを起こしていることも事実だ。ところが、米国の高度技術製品の貿易収支は2001年以降赤字となり、その赤字額は年々増加している。これは、技術革新を高付加価値製造に結びつけなければ、開発した革新的技術の成果を十分に得

富山県工業技術センター  
所長

鳥山素弘氏



ることが出来ないことを示している。また、ITを駆使した金融業などの脱工業化は、米国経済の発展を牽引してきた。しかし、その結果生じた貧富の格差拡大は、社会の安定性を損なった。先進製造技術による製造業の復活は、イノベーションによる質の高い雇用を創出し、中間所得層の増加で社会の安定化を図り、同時に国際競争力の強化もしようとする試みである。

ハーバード・ビジネス・スクールのGary PisanoとWilly Shihは、全く新しい製品の出現による製品イノベーションや、劇的な省エネルギー化や低コスト化を実現するプロセスイノベーションに対して、製品の差別化のために開発・設計と製造を分離することが出来ない「プロセス内蔵型イノベーション」が存在しているとしている。一般に、人件費やエネルギー価格等のコストメリットの観点から説明されているリショアリングや、オバマ政権の先進製造技術開発は、「プロセス内蔵型イノベーション」を狙う動きとも言える。

さて、先端技術とものづくり技術の融合によって産業競争力の強化を狙う富山県は、このような製造業の新たな潮流を先取りしてきた。イノベーションに繋がる技術開発を行うためには、広範な産業分野のメンバーから共感が得られるイノベーションへのシナリオを示すことが、今、求められている。そのためには、寡黙で堅実に粘り強く仕事に取り組む富山人から、自らの夢を語る積極的な富山人に少し変わることも必要だと思ふのだが。

**三光合成株式会社**  
SANKO GOSEI LTD.

〒939-1698 富山県南砺市土生新1200  
1200 HABUSHIN NANTO-CITY TOYAMA 939-1698 JAPAN  
TEL 0763-52-1000 FAX 0763-52-1925  
http://www.sankogosei.co.jp/

**TAKAGISEIKO**  
革新を続けるプラスチック創造企業

**株式会社 タカギセイコー**

代表取締役社長 八十島 清吉

本社/富山県高岡市二塚322-3 ☎(0766)24-5522代



## 上海近況レポート

北陸銀行上海駐在員事務所  
所長 浜田 貴英 氏

### 1. 最近の上海の状況

上海市は東西で虹橋地区と浦東地区の二つのエリアに企業と商業施設が集中しており、当事務所は虹橋地区にあります。

富裕層が多く消費著しい上海では、ここ虹橋地区だけでもこの1~2年の間に大型商業施設が次々と開業しております。当事務所の南側には高島屋デパートが、北側には尚嘉中心(世界の高級ブランドショップが入居し、通称ルイ・ヴィトンビルと呼ばれる)が2013年2月に開業し、今秋には西側にアピタ(ユニー)上海1号店の開業を予定しています。浦東地区には、128階の上海中心(上海タワー)が今秋完成し、上海市は浦東新区を上海金融貿易の中心とすべく整備に力をいれております。



尚嘉中心 (通称ルイ・ヴィトンビル)

### 2. 地域企業の進出状況と事業環境

上海駐在員事務所の担当エリア(華東・華南・香港・中西部)には、既に約350社のお取引先がこれまで進出しております。最近の状況では、私が着任した

2011年1月以降2013年末までの3年間で計23社のお取引先が新規に進出されております。

以前は、華東地区においては上海近郊の江蘇省や浙江省、華南地区では広東省内に加工貿易を目的とした大規模な製造拠点を設立する形態が中心でしたが、最近では、製造業では既に古くから進出され中国投資を拡大する大手製造業のサプライヤーや中国国内販売を目指す生産型企業、また上海市では飲食やサービス業の進出が増えております。そして、既存進出お取引先で中国国内新拠点設立や移転拡張など投資拡大された先では、2013年だけでも6社あり、2012年9月の日中関係悪化にもかかわらず、自動車関連業種をはじめとして中国ビジネスへの期待は依然高いことが分かります。



浦東新区全景

人件費などコスト上昇(2014年の上海市の月額最低賃金は1,820円で対前年比12.3%増)により規模縮小の動きもありますが、中国の強みであるサプライチェーンを活かすため、進出お取引先には中国国内での

**TOYOKAKO**  
優れた技術と確かな品質でお応えします。  
**東洋化工株式会社**  
取締役社長 中田 守人  
〒936-0857 滑川市下梅沢1350番地  
TEL(076)475-2125 FAX(076)475-9471

地球環境創造  
**TOYOX** 株式会社トヨックス  
〒938-8585 富山県黒部市前沢4371  
TEL 0765-52-3131 FAX 0765-52-4245  
<http://www.toyox.co.jp>

省内や内陸移転によりその活用を図り、また製品・部材等を輸入するお取引先は新たな製造委託先を探すニーズは根強くあります。

### 3. 日本国内での情報と中国現地実態のギャップ

中国市場は短期間に急速な発展と変化を遂げ、以前のような安価で豊富な労働力を強みとした輸出主導型経済から内需主導型経済へと転換、今まさに中国経済は構造変化の真っただ中にあります。中国主要都市では、先進諸国で売れている製品・サービスが普通に売られ、中国で成功している企業はこの実態を的確に把握し、中国市場を重要な市場と位置付け、さらなる投資拡大を図っております。

一方、日本国内では中国経済に対する悲観的な情報の報道が多く、これら現地の実態を直視せず、中国への進出・投資拡大には慎重となっているのではと感じております。とりわけ、その姿勢は2012年9月日中関係悪化以降顕著になったと思います。

しかし、自動車関連業種、工作機械、環境関連業種などでは大手企業から地元中小企業まで中国での販路開拓を着実に実現してきており、現地では設備資金や増加運転資金の調達ニーズも強まっているのが実態です。



上海長城会セミナー (上海市商務委員会講演)

### 4. 最後に

北陸銀行が上海に拠点を設立したのは1994年9月で、今年が開設20周年です。進出形態、現地進出お取引先から求められるニーズは多様化してきており、現地でしか得ることのできない当地の実情をタイムリーかつ的確にお伝えしていく姿勢を大切にしております。

提携政府機関と協力した上海長城会セミナー(取引先への情報提供)や個別商談会の開催(ビジネスマッチング)など積極的にご支援しております。

世界から多くのライバルが集まる激しい中国市場で戦っているお取引先にしっかりと寄り添い、頼られる上海事務所となるよう、日々業務に邁進していきたいと思っております。



無錫商談会での高級様子

**阪神化成工業株式会社**  
〒939-8183 富山市小中163番地  
TEL(076)429-1865代  
FAX(076)429-6042  
URL <http://www.hansin.co.jp/>

未来への限りない挑戦  
プラスチックの総合メーカー  
**ミユキ化成株式会社**  
代表取締役社長 延澤 泰明  
〒939-0351 富山県射水市戸城針原53-14  
TEL(0766)56-9500代 FAX(0766)56-9495  
URL: <http://www.miyuki-kasei.co.jp/>



## 平成25年度 第3回労務研修会

平成26年2月7日(金)13時30分より富山技術交流センター2階大研修室にて平成25年度第3回労務研修会を開催致しました。講師は片境社会保険労務士事務所所長 片境 貢氏で、労働者派遣法に関する学習をしました。そもそも「労働者派遣法」は内容が忙しく変わるため、担当者泣かせの面がありました。このため、今回の労務研修では「労働者派遣法」の基本から今までの内容変遷経緯を総括的に学び直すことにより、現状の法制度をより正確忠実に理解して日々の業務に反映することを狙いとしました。



15人の受講者全員が指導内容を真剣に聴き入り、資料と見比べながら細かくメモを採っていました。

- |   |   |
|---|---|
| <p>内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 派遣法の目的</li> <li>2. 派遣法成立の経緯             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 労働者供給事業の禁止</li> <li>② 派遣法の制定(昭和60年)</li> <li>③ 派遣事業とは</li> </ol> </li> <li>3. 類似・関連業務(職業紹介、出向、請負、派遣定員、紹介予定派遣)</li> <li>4. 派遣で禁止している業務</li> <li>5. 派遣事業の種類             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 一般労働者派遣事業</li> <li>② 特定労働者派遣事業</li> </ol> </li> </ol> | <ol style="list-style-type: none"> <li>6. 改正法その他             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 関係派遣先への派遣割合</li> <li>② 派遣契約期間</li> <li>③ 派遣元が講ずべき主な措置・事業者責任</li> <li>④ 派遣先が講ずべき主な措置・使用者責任</li> <li>⑤ 今後の法律改正予定</li> </ol> </li> </ol> |
|---|---|

### ★受講感想 阪神化成工業㈱ 経営企画室 永田 隆志

この度初めて労務研修会に参加させていただきました。今回は労働者派遣法についてでしたが、元々あまり知識を持っていなかった私でも、派遣社員の独特の雇用形態、それに付随する規約等を分かりやすく知る事が出来ました。又、派遣労働者の保護の為の動き、現状も同時に説明していただき非常に有意義な時間を過ごすことが出来ました。次回の研修会も是非参加させていただきます。ありがとうございました。

## 青年部会事業 県内先進企業視察研修

当工業会会員企業の有志が集って富山県内の先進優良企業を視察させて頂く研修事業が、平成26年2月12日(水)午後に株富山村田製作所にて開催されました。株村田製作所は、そこで製造するITユニットが無ければ世界のスマホが存在し得ない、と言われるほどIT業界でオンリーワン街道をばく進しております。製品企画設計はもちろん、工程設計から加工機械装置をはじめ、各種検査装置や信頼性評価装置等に至るまで自社で一貫生産対応をしているのとのこと、他社の追従を許さない企業運営が隔々まで徹底していることに改めて感心しました。また、基本素材であるセラミックスの超高精度な加工及び組立システムに多くの事柄を学ぶことができました。参加者一同の目の輝きは格別でした。

もう一つの期待であった「ムラタセイサク君」は、あいにく当日の見学ができず、この週末から富山県科学博物館で展示されるとのこと、場所を変えて家族での見学を楽しみにしました。

この貴重な視察研修の機会をご用意いただいた管理部の皆様及び、ご案内ご説明を下された方々をはじめ、ご支援いただいた全ての皆様に御礼を申し上げます。



株富山村田製作所 管理部  
江本部長より歓迎のごあいさつ

### ★視察感想 株齊藤製作所 太田光則

県内の先進企業視察研修とし、株富山村田製作所様の工場見学に参加させていただきました。会社概要では「未来に一番乗り」と言うビジョンに向けての体制説明を受け、その後IT機器の主要部品であるセラミック発振子とショックセンサーの製造現場を見学させていただきました。

業界のトップランナー企業の工場内には、「ものづくり」に対する「ノウハウの織り込みと技術の差別化」を目指した取り組みが感じられ、大変有意義な視察研修となりました。

最後に株富山村田製作所様には、このような機会を設けていただき感謝申し上げます。

## 平成26年度 第1回労務研修会

6月12日(木)に開催した労務研修会は、メンタルヘルスケアに関して3年間に涉って内容を連携して企画開催したものです。3年目の今回は、富山県内でもメンタルヘルスケアの取り組みに大きな役割を担っている医療機関から講師をお招きして、様々な切り口から事態の認識や課題の対処方法等について、優しく細かくご指導を頂きました。受講者一人一人が「気づき」の要になって、各社における働く環境がよりいっそう健康的で充実したものになるよう祈念いたします。



小松講師

場 所 富山技術交流センター 2階 大研修室  
演 題 「職場のメンタルヘルス対策の現状と今後の課題」  
講 師 一財)北陸予防医学協会 事業運営部  
産業カウンセラー 小松 紀美子氏

### ★受講感想 株リッチェル 経営管理本部 人事課 桐澤浩代

悩みやストレスを抱える労働者が増加する中、当社としてさらにどう取り組んでいかなければならないのか思索する中での受講でした。

今回、メンタルヘルスの現状や対処法、今後の課題についてご講義いただき、あらためて周囲のサポートの重要性、コミュニケーションの大切さを学ぶことができました。

今後は、早期発見、早期対応できる職場の環境づくりに少しでも貢献できるよう、取り組みたいと考えております。



研修風景

**Richell** 暮らしに笑顔を咲かせます。

**株式会社リッチェル**

富山市水橋桜木136 〒939-0592  
TEL(076)478-2250 <http://www.richell.co.jp/>

プラスチック家庭用品・園芸用品・ペット用品・ベビー用品・工業用品・環境用品・介護用品・エクステリア用品・工業用品・マイクロチップ・ソーラー製品等の製造販売

(広告は、企業名の30音順で掲載しています)





## 技術高度化研修 射出成形技術・技能に関する実技強化講習会

当工業会の基本的なテーマである成形技術・技能の向上取り組みに関して、『若年技能者人材育成支援等事業』の一環で、ものづくりマイスター制度を活用して実技強化講習会を開催致しました。

本研修開催の主旨としては、①射出成形技能士1級あるいは2級レベルの実技技量に到達したいが、特定の技量に弱点があるため、その集中補強を希望する方の実技指導講習を実施して、それぞれのレベルで技量の高度化とバランス確保を図ること、②射出成形技能士1級あるいは2級レベルの実技技量にほぼ到達しているが、特定の技量のさらなる強化向上を希望する方の実技指導講習を進めて、それぞれのレベルで更なる技量の高度化とバランス構築を図ることの、2つの大きな狙いをもってこの講習会を実施致しました。

受講回数・時間は一人あたり、指定する1日だけの1回3時間、成形機を1台占有して集中講習指導を展開し、講師が実質的にマン・ツー・マンで指導する非常に密度の高い、理想に近い講習会にできました。実際に受講した17名の感想もたいへん満足度の高いもので、講師の指導が徹々細々まで行き届いた講習会でした。特に個々の不明点・自信が持てない要素に関する質問が存分にできて、その的確な指導を得ることができたのも大きな自信に繋がりました。

今後もこのような講習を継続して開催できるようにしたいと思います。

### 開催日時

[期 間] 平成26年2月10日(月)～21日(金)<計9日間>

[講習時間] 午後1時～午後4時まで 3時間

[開催場所] ポリテクセンター富山

[指導講師] 渋谷 賢氏

(ものづくりマイスター、射出成形1級技能士)



指導を受ける受講者

## 共同研究「高精度微細金型離型性に優れた バイオマス材料のナノインプリント成型プロセスの開発」

リッチェル(主幹企業)、タカギセイコー、三晶MEC、三光合成、戸出化成、富山県立大学、富山県工業技術センター、富山県プラスチック工業会

当工業会の会員企業5社は、富山県立大学工学部 機械システム工学科 竹井敏 研究室と富山県工業技術センターと共同で高植物由来率ナノインプリント成型素材を用いたグリーンリソグラフィ技術を初期開発した。

米科学誌J. Micro/Nanolithogr. MEMS MOEMSやNano tech 2014 第13回 国際ナノテクノロジー総合展・技術会議(東京ビックサイト)等により、本研究成果を国内外に向けて発表した。離型性とナノ加工性を両立した植物由来率40wt%のバイオマスナノフィルムの一部の研究に関して、富山県立大学研究協力会会長表彰 奨励賞が与えられた。

今後、富山発のナノテクを当工業会の会員企業の各種製品への採用を目指し、高植物由来率ナノファイルの量産技術や用途調査を進めている。

本研究は平成24-25年度富山県新世紀産業機構 高度技術実用化支援事業の支援により行った。心から感謝申し上げます。



## 第7回 技術開発・改善事例発表会&講演会開催

平成26年2月21日(金)13時30分より、呉羽ハイツに50名ほどの参加者を得て開催されました。開会にあたり、新任の技術委員会担当役員の高橋秀樹副会長(高陵プラスチック工業㈱代表取締役社長)が挨拶をして、日ごろの活発な活動と充実した成果の報告を期待されました。

第一部では、共同研究開発報告を皮切りに会員企業3社の熱心な取り組みが報告され、各テーマの発表が終わると踏み込んだ質問が続き、その応答説明から新たな苦労話やチームの並々ならぬ意欲・連帯の強さを感じました。

全ての発表が終了して、技術委員会担当役員の高橋副会長から発表者に労いの言葉と「奨励賞の盾」を授与し、当工業界の今後の更なる活発な取り組みへの期待を込めて第一部終了の挨拶をされました。

第二部は技術高度化セミナーの一環で、富山高等専門学校のお二人の先生から、少年少女を未来のエンジニアに育成する活動状況並びに若者を育成する手法・要素等の研究と、高分子・プラスチック分野の研究活動のご紹介・提言等に関する基調講演を頂きました。

### 第1部 発表会

#### 【富山県プラスチック工業会共同研究開発報告】

##### 1. 株式会社リッチェル

演題:「高精度微細金型離型性に優れたバイオマス材料のナノインプリント成型プロセスの開発」

#### 【会員企業事例発表】

##### 1. 三晶MEC株式会社

演題:「コストマップによる工程改善」

##### 2. 阪神化成工業株式会社

演題:「ダイレクトブローの型替え時間の短縮」

##### 3. 株式会社タカギセイコー

演題:「アイドラプリー シール部スレキズ不良の撲滅」



高橋秀樹担当役員より開会のごあいさつ

### 第2部 講演会

#### 〈第1話〉

- ◆講師 富山高等専門学校 専攻科専任・准教授 博士(工学) 畔田 博之氏  
演題 「①地域の理科教育について」 「②複合材料の化学分解について」

#### 〈第2話〉

- ◆講師 富山高等専門学校 物理化学工学科教授 博士(工学) 高廣 政彦氏  
演題 「PET樹脂の延伸過程における特異挙動について」



## 優良企業視察研修会

平成26年5月13日(火)に、当初は富山県からの日帰りバスツアー企業視察は無理な距離と考えていたところ、周到な事前調査を重ねて自信を持って実施致しました。参加者のご理解と協調も密に連携できて、一見すると欲張りな企画が、たいへん実り多い企業視察になりました。

視察先 (1) とよたEcoful Town 愛知県豊田市  
 (2) トヨタ自動車 元町工場 愛知県豊田市(組立工場→溶接工場)  
 (3) トヨタ会館 愛知県豊田市

### ★視察感想 (三編)

#### ◇「とよたEcoful Townを視察して」

三協化成株 生産部製造三課 舟守 裕

次世代の環境技術を集約した全国初の地区として、安心で活力と魅力あふれる低炭素社会を提案されていた。産業・暮らし・交通などの様々な最新技術が盛り込まれており、見どころ満載な施設でした。その中でも特に目を引いたのは燃料電池自動車(FCV)でした。

HV・PHV車やEV車など電気を利用した車とは違い、天然ガスから取り出した水素を利用する車で、3分の補給で500kmも走行可能だと聞き、驚きました。

創業以来の技術者達のより良い物を開発しようという向上心が、こういった様々な技術・製品を生んでくるのだと感じました。トヨタでは、これからの社会づくりを想定してものづくりをされており、とても勉強になりました。

この経験を活かし、現状では満足をしなくて、更により良いものづくりに励みたいと思います。またトヨタ自動車の方々に心より感謝を申し上げ、お礼にかえさせていただきます。

#### ◇「トヨタ自動車株 元町工場を視察して」

三晶MEC株 生産技術部 沢本 一樹

この度、優良企業視察研修会にてトヨタ自動車株元町工場に訪問させていただきました。

ボディーフレーム溶接工場では、増打工程を見学しました。コンピューターで制御されたロボットが溶接を行い、人の姿はなく、自動化率96%と聞き、大変驚きました。

車両組み立て工場では国内外から集まった部品が車両に組み込まれていく工程を見学しました。集まった部品すべてに「かんばん」が付いていて情報がすぐに分かる。部品はその日に使う分だけ納入されていて、生産時間ごとに分けられている。1日の生産台数も決められていてその稼働率も皆が共有できるようになっている。同一のラインで様々な車種を混流生産していて、要るものを、要るだけ、要る時に・・・すべて有名な内容ですが実際に見ると、その様子に圧倒されました。このような大きな会社ですが、小集団活動等によって得られたアイデアが生産ラインに詰まっているという話も紹介され、刺激になりました。ここで得た経験を自分たちの会社でも生かせるように日々努力していきたいと思っています。

#### ◇「トヨタ会館を視察して」

ミユキ化成株 製造課 四辻 直也

この度、優良企業視察研修会に参加し、トヨタ会館を視察させていただきました。トヨタ会館には、自動車の歴史やトヨタの歴史はもちろん、車を取り巻く環境や安全に対する取り組み、企業としての未来を見据えたビジョン、エントランスホールやショールームには最新の技術を取り入れた車やロボット等、様々なものが展示されていました。

「お客様第一主義」という信念に基づき、ひとりひとりが高い品質を造りこむことで顧客満足を実現していく過程には、多種多様な「かいぜん」の積み重ねがあり、それらによって素晴らしい仕事を実現できるのだと実感することができました。

今回の視察で感じる事が出来たいろいろな思いを、今後の業務において十分に活かしたいと考えています。このような機会を設けていただき、本当にありがとうございました。



とよたEcoful Townにて



トヨタ自動車株元町工場にて

## 研修講習事業報告

### ブロー成形実技講習

と き：平成26年1月14日(火)～21日(火)

と ころ：ポリテクセンター富山

講 師：旭井 富士夫氏



### 労務研修会

と き：平成26年2月7日(金)

講 演：「労働者派遣法学習会」

講 師：片境社会保険労務士事務所  
 所長 片境 貢氏

と き：平成26年6月12日(木)

講 演：「職場のメンタルヘルス対策の現状と

今後の課題」

講 師：一財)北陸予防医学協会  
 課長代理 小松 紀美子氏

### 成形技術高度化セミナー

と き：平成26年2月10日(月)～21日(金)

と ころ：ポリテクセンター富山

講 師：渋谷 巽氏

と き：平成26年7月15日(火)

と ころ：富山技術交流センター2F

講 演：「射出成形不良の未然防止のための成形技術」

講 師：高野技術士事務所  
 所長 高野 菊雄氏

### レベルアップ研修会

と き：平成26年4月8日(火)～24日(木)

と ころ：ポリテクセンター富山



### 優良企業視察

と き：平成26年5月13日(火)

と ころ：①とよたEcoful Town

②トヨタ自動車元町工場/トヨタ会館

### 射出成形実技講習

と き：平成26年5月14日(水)～6月24日(火)

と ころ：ポリテクセンター富山

講 師：旭井 富士夫氏  
 渋谷 巽氏



### 射出成形学科講習

と き：平成26年7月26日(土)

と ころ：ポリテクセンター富山

講 師：林 盛彦氏





優良従業員表彰

平成26年5月28日(水)に富山第一ホテルにて表彰式があり、17名の方が優良従業員表彰を受章されました。誠にありがとうございます。

来賓を代表して 公財) 富山県新世紀産業機構 海野専務理事よりお祝いの言葉として、プラスチック業界が県産業界に果たす役割と発展を期待する祝辞がありました。



氏名	企業名
池村 健	株トヨックス
石倉 晃	ファイブプラス株
稲積 孝純	株タカギセイコー
熊本 幹男	阪神化成工業株
堺 昌之	三光合成株
佐藤 勝人	三協化成株
志鷹 悦子	株磯井製作所
鳥 聖子	株トヨックス
清水 智明	株大樹
高柳 敏信	株タカギセイコー
館川 正美	株コージン
立野 静雄	東洋化工株
長谷川 由美子	株リッチェル
藤永 政樹	小林製薬ブラックス株
藤本 高志	阪神化成工業株
堀井 昌之	太平洋株
山本 昭弘	三光合成株

懇親ボウリング大会開催 16社24チーム120名の熱戦記

梅雨明けが近い平成26年7月5日(土)、ボウリング大会会場の小杉クアトロブームに16社24チーム120名の選手と応援団の皆様が集まった。当初は参加申し込みが非常に低調で心配したが、申し込み期限が近づくにつれてエントリーが殺到して、ついには昨年度より3チーム15名も多い盛大な大会となった。嬉しいことに、今年度も小さなお子様連れのチームが目立ち、可愛い笑顔に大きなパワーを貰って元気よくゲームを楽しんだ。また、上司の心強い応援もあり、カラフルなユニフォームを揃えて張り切るチームありと、文字通りの“懇親大会”となった。

定刻にはいつものように、世話係の浅谷さんが大会運営のルールを説明して、さあいよいよ練習開始！ 続いてすぐに試合開始となり、会場は終始賑やかな歓声で溢れた。ストライクやスベアのガッツポーズにハイタッチと、チームの団結が心強い。2ゲームの試合はあっという間に終わり、名残惜しい気持ちを抑えて表彰式を迎えた。今年度も賞品を会場の中央に豪華に並べたことで、少し目の色が変わったかな？

結果、団体優勝は「タカギセイコー氷見」チーム、個人優勝は東洋化工株「ラーメン博物館」の立野さんの頭上に輝いた。団体戦・個人戦の飛び賞などを表彰して大会の幕を閉じた。今期も参加チーム毎にアンケートに意見・要望等を答えて頂き、来期の開催をより盛大にできるよう、貴重な情報を集めさせて頂いた。来年度、またお会いしましょう！

団体の部 (1チーム5名 計10ゲーム)

	チーム名	企業名
優勝	タカギセイコー氷見	株タカギセイコー
準優勝	チーム新湊NEO	株タカギセイコー
3位	シロウマレディーズ?	シロウマサイエンス株
4位	チームミユキ	ミユキ化成株
5位	チームHANSHIN	阪神化成工業株

個人の部 (2ゲーム)

	チーム名	企業名
優勝	立野 静雄	東洋化工株
準優勝	紙屋 安久	株タカギセイコー
3位	澤井 勝秀	株タカギセイコー
4位	中林 栄仁	シロウマサイエンス株
5位	海老 彰	株タカギセイコー



ゲーム開始前の説明

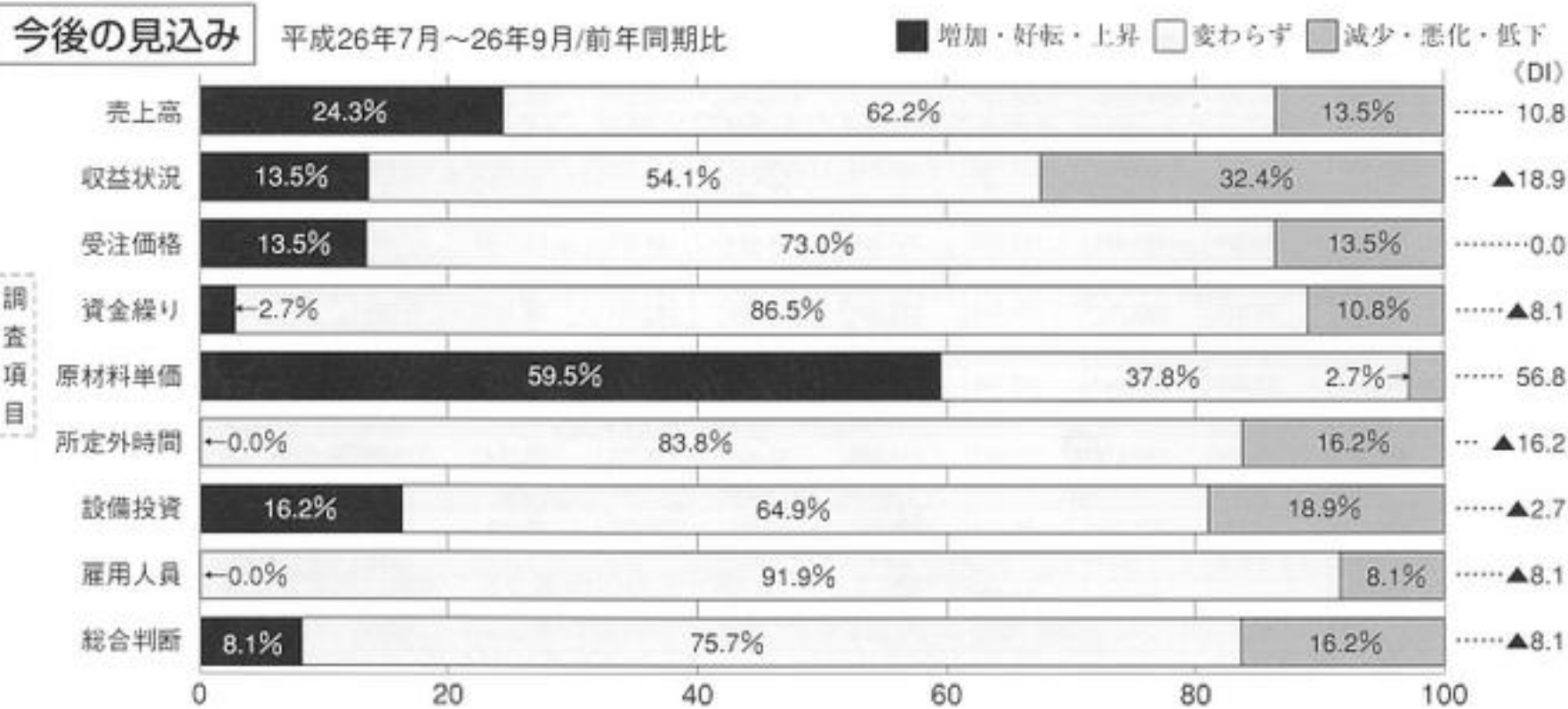
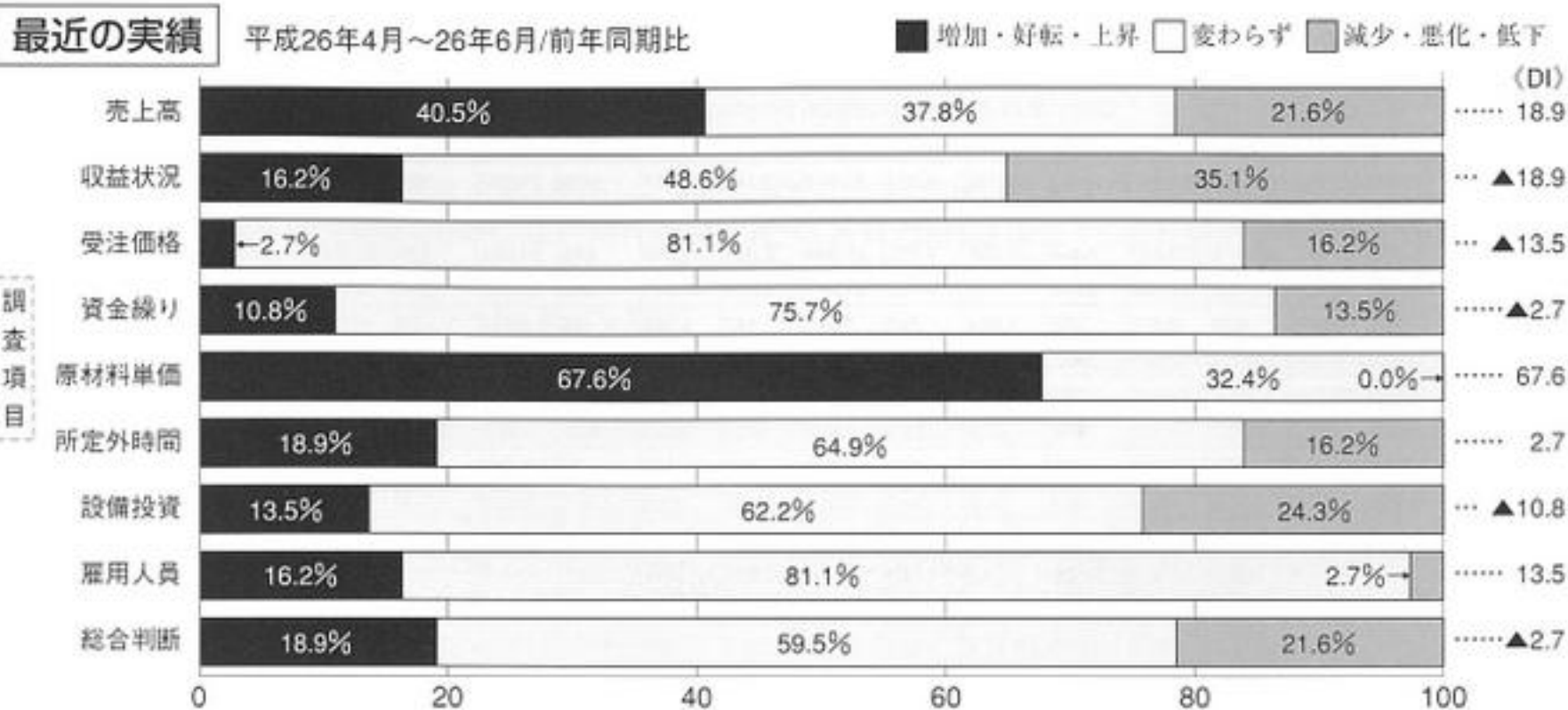


団体の部優勝  
株タカギセイコー「タカギセイコー氷見」



個人の部優勝  
東洋化工株 立野静雄さん

会員企業アンケートによる景況調査



■雇用について

①26年4月の学卒者入社実績

ある	45.9%
ない	54.1%
未定	0.0%

②26年4月～9月の中途採用実績・予定

ある	62.2%
ない	27.0%
未定	10.8%

③26年4月～9月の雇用削減実績・予定

ある	2.7%
ない	83.8%
未定	13.5%

■円安基調の影響について

たいへん恩恵を得ている	0.0%
多少は恩恵を得ている	10.8%
特に恩恵もデメリットも受けていない	27.0%
どちらかというデメリットを感じている	18.9%
かなりのデメリットを感じている	24.4%
よくわからない	18.9%

■今後の為替変動(対米ドル)の見通しについて

概ね100円/\$を挟んで当面安定	48.5%
概ね105円/\$に向かって変動	39.4%
概ね110円/\$に向かって変動	12.1%
概ね95円/\$に向かって変動	0.0%
概ね90円/\$に向かって変動	0.0%

■ビジネス進出を指向したい国について

タイ	12.1%
ベトナム	11.8%
インドネシア	11.0%
台湾	9.5%
シンガポール	9.1%
インド	9.1%
中国	8.7%
ミャンマー	8.3%
カンボジア	7.6%
韓国	6.4%
ラオス	6.4%



# プラスチック関連データ

## ■加工機械生産実績

金額：百万円

	合計		射出成形機										押出成形機		ブロー成形機			
	計		型枠力100t未満		型枠力100t以上200t未満		型枠力200t以上500t未満		型枠力500t以上		本体		付属装置		本体			
	台数	金額	台数	金額	台数	金額	台数	金額	台数	金額	台数	金額	台数	金額	台数	金額		
H22	12,984	147,369	11,180	115,147	4,454	27,599	4,087	33,919	2,151	32,467	488	21,162	399	11,290	861	8,733	544	12,199
H23	13,319	173,032	11,411	125,212	4,221	26,823	4,426	38,041	2,195	33,232	569	27,116	472	23,946	901	11,964	535	11,910
H24	13,523	183,827	11,519	133,827	4,109	26,256	4,433	39,934	2,333	33,546	644	34,091	425	25,505	983	10,963	596	13,532
H25	12,667	176,000	10,765	129,486	8,748	21,742	4,103	37,971	2,514	36,674	649	33,099	449	18,927	806	9,320	647	18,267
H25.11月	946	12,973	802	9,312	255	1,534	342	3,300	147	2,165	58	2,313	25	1,280	74	1,219	45	1,162
前年同月比%	104.9	102.3	101.6	92.1	92.1	85.8	123.9	123.6	81.7	87.7	103.6	72.5	78.1	169.3	217.6	363.9	95.7	74.5
H25.12月	1,030	15,719	814	11,292	269	1,795	289	2,646	182	2,782	74	4,069	41	1,110	112	1,320	63	1,997
前年同月比%	115.0	109.6	107.7	119.8	87.1	87.8	125.7	129.5	103.4	109.1	180.5	146.1	120.6	34.3	207.4	923.1	121.2	130.0
H26.1月	944	14,092	801	10,567	227	1,472	317	2,922	182	2,668	75	3,505	46	1,297	51	929	46	1,299
前年同月比%	109.5	123.9	108.5	116.4	89.4	90.9	134.9	140.4	88.8	83.5	170.5	180.6	127.8	182.9	104.1	163.8	117.9	128.0
H26.2月	1,114	15,234	954	12,067	276	1,883	420	4,333	194	2,602	64	3,249	37	1,173	76	781	47	1,213
前年同月比%	104.5	101.6	105.6	106.0	92.0	101.3	146.9	157.3	76.1	73.1	103.2	101.0	90.2	63.4	101.3	94.7	100.0	130.0
H26.3月	1,372	21,066	1,114	13,956	349	2,226	453	4,107	234	3,604	78	4,019	76	3,346	101	1,388	81	2,376
前年同月比%	111.3	117.4	114.5	123.0	100.0	99.4	146.6	146.3	92.9	135.2	123.8	110.6	107.0	102.0	90.2	106.4	105.2	118.2
H26.4月	1,116	15,079	995	12,911	345	2,647	393	3,961	201	3,580	56	2,723	32	773	43	1,85	46	1,210
前年同月比%	118.3	113.3	121.6	126.6	138.6	172.9	132.3	147.9	89.7	109.8	116.7	99.7	128.0	57.1	107.5	36.7	76.7	97.1

## ■原料生産実績

金額：百万円

	計	樹脂												
		フェノール樹脂	ポリエチレン	ポリスチレン	ポリプロピレン	メタクリル樹脂	塩化ビニル樹脂	ポリカーボネート	ポリアセタール	PET樹脂	PBT樹脂	その他樹脂		
H22	12,275,714	284,151	2,963,443	1,384,707	2,709,023	215,279	1,749,016	369,270	142,643	631,101	187,120	1,639,961		
H23	11,237,030	276,078	2,834,368	1,275,470	2,448,356	202,560	1,529,060	300,653	138,500	565,469	178,714	1,487,800		
H24	10,539,548	274,564	2,604,904	1,167,702	2,390,256	172,554	1,330,785	316,797	123,954	472,061	182,168	1,503,803		
H25	10,579,334	287,515	2,630,960	1,189,070	2,248,199	162,512	1,486,633	309,208	122,958	526,163	159,942	1,456,174		
H25.11月	944,093	24,788	236,902	102,720	217,218	14,444	124,201	28,577	6,604	43,143	13,158	132,338		
前年同月比%	111.2	104.0	104.9	108.2	115.8	128.5	125.1	127.7	87.4	108.4	128.0	105.0		
H25.12月	963,510	24,311	242,707	109,746	212,201	12,186	132,001	29,189	11,757	41,924	17,627	129,861		
前年同月比%	103.5	110.9	102.0	113.1	104.7	107.4	112.2	114.4	118.1	94.5	144.5	86.7		
H26.1月	996,551	22,969	250,943	108,746	243,031	10,581	136,662	26,991	11,196	39,687	16,169	129,576		
前年同月比%	107.7	106.5	101.6	119.3	114.2	77.4	112.5	100.8	86.8	96.3	113.2	105.7		
H26.2月	917,156	23,494	229,816	104,837	214,388	12,499	134,292	23,954	9,434	29,413	14,578	120,451		
前年同月比%	107.8	103.4	107.6	104.4	121.8	102.0	106.0	92.9	89.4	77.4	113.8	107.2		
H26.3月	866,308	24,756	211,333	88,732	202,497	14,851	120,026	26,685	8,724	32,707	15,641	120,356		
前年同月比%	101.5	102.5	96.7	93.8	114.7	113.9	92.4	107.0	91.6	91.9	128.0	105.1		
H26.4月	868,439	24,613	195,875	95,992	214,727	14,103	121,194	21,046	10,950	36,404	16,050	117,485		
前年同月比%	99.7	103.2	86.5	91.9	115.8	94.7	109.3	80.8	100.3	89.2	168.4	99.4		

## ■製品生産実績

単位：トン

	計	機械部品①～③										日用品・雑貨		容器		建材	発泡製品	強化製品	その他
		計	①輸送機械部品		②電気通信部品		③その他部品		中空成形容器	その他の容器									
			フィルム	シート	板	合成皮革	パイプ	継手											
H22	5,338,574	2,192,799	235,454	129,499	53,483	385,322	54,804	664,620	415,018	193,618	55,984	263,130	601,810	247,652	263,719	292,592	65,784	270,125	
H23	5,679,777	2,153,034	245,715	131,248	51,068	392,232	58,068	605,843	393,415	161,971	50,457	278,925	578,975	283,274	274,915	292,110	66,937	267,433	
H24	5,858,551	2,165,469	236,637	127,631	51,154	434,609	57,616	685,013	484,324	147,689	53,000	303,050	551,614	316,352	288,173	294,402	66,515	280,316	
H25	5,975,043	2,282,078	242,043	124,575	50,146	480,706	60,783	678,648	485,251	140,425	52,972	297,110	541,007	262,131	305,268	276,250	73,771	300,527	
H25.11月	519,372	201,645	20,573	10,642	4,541	42,479	5,274	59,162	42,542	12,109	4,511	25,570	40,361	23,355	27,670	26,473	6,014	25,613	
前年同月比%	101.5	103.6	103.5	104.6	107.4	97.4	100.7	106.7	109.6	99.0	102.5	97.0	97.7	84.4	108.5	97.5	101.3	105.3	
H25.12月	493,942	189,448	20,387	10,320	4,375	42,603	4,882	56,938	40,811	11,709	4,418	26,491	35,380	21,374	26,579	24,349	6,250	24,566	
前年同月比%	103.4	103.7	108.1	108.2	110.5	108.6	102.9	109.4	113.0	99.2	106.3	104.1	95.7	83.0	109.0	92.1	117.0	109.2	
H26.1月	444,618	169,127	17,080	8,601	4,439	37,441	4,435	55,779	42,075	9,676	4,028	21,423	35,026	20,271	24,028	19,345	5,778	21,845	
前年同月比%	101.3	99.8	95.0	100.5	113.2	106.5	99.8	109.1	115.3	89.8	105.1	93.3	104.9	93.3	109.6	89.8	115.3	100.3	
H26.2月	468,801	173,702	18,258	9,541	4,424	40,065	5,029	56,807	42,732	9,910	4,165	23,033	40,307	21,509	26,420	20,518	6,118	23,070	
前年同月比%	101.7	99.2	100.9	104.3	110.1	107.6	102.5	104.9	110.4	87.1	101.6	97.3	102.0	95.7	113.3	93.5	119.6	103.2	
H26.3月	512,510	191,344	19,750	10,325	4,625	44,397	5,615	58,117	43,589	10,282	4,246	25,126	47,329	24,982	28,549	21,691	6,377	24,283	
前年同月比%	103.7	103.4	99.6	98.8	113.1	122.7	105.7	102.9	108.2	86.2	99.6	101.4	98.3	93.5	113.7	93.3	123.2	102.8	
H26.4月	494,119	190,145	19,587	9,719	4,541	32,829	4,961	54,114	39,479	10,387	4,248	26,227	48,876	24,299	27,476	21,323	5,796	24,226	
前年同月比%	98.3	97.7	95.4	89.7	109.4	100.1	96.3	97.8	101.8	85.6	96.2	99.3	102.2	92.9	101.9	93.1	108.1	103.0	

(経済産業省「プラスチック」)

# 共創

## 危機管理・雑感 ～二宮尊徳に学ぶ～

気がつけば、今では学校の校庭には、ほとんど「二宮金次郎」の銅像は見られない。  
 薪を背負いつつ読書しているおなじみの姿は、残念ながら現代では必要とされず、むしろ今の児童・生徒には“歩行しつつ読書することの危険性”や“年少者の労働を推奨するかの印象を与える”等の批判的意見にもさらされ、長らく勤勉・誠実・向学心の象徴であった二宮金次郎(尊徳)は、すでに歴史のかなたに役目を終えたということであろうか。  
 しかしながら、銅像の金次郎はともかく、江戸時代の農政家・二宮尊徳からは現代でも学ぶ点が多々あり、私の貧弱な見聞だけでも尊徳の人柄や自然災害に向かう姿勢は「危機管理」の重要性が叫ばれる現代社会では、むしろ敬服するところ大である。以下、特に忘れ難いエピソードを紹介したい。

天候不順が続いたある年、二宮尊徳が農民から初物の「なすび」をもらって口にしようとした際、なんと“秋なすび”の味がしたという。これから夏を迎えるという時期に“秋の味”がするとは。もしや「今年は夏が来ないのでは!」という危機意識が直感として尊徳を襲う。

尊徳は四方の農村に手紙を書き、「今年はきつと“冷夏”である。米は育たぬから苗を抜き、代わりに寒さに強い稗や粟を植えよ。」と説いて廻るも、確実に飢饉の到来を保証できるわけでもない尊徳の忠告には、素直に従わなかった農村もあった。

果たして尊徳の予言通り、この年はこのほか冷害が厳しく、尊徳の危機対策に従わなかった農村での餓死者はおびただしいものがあつたが、尊徳の率いる農村では一人の餓死者も出さなかったという。世に言う「天保の大飢饉」である。

これは単にエピソードではなく、二宮尊徳翁からの間書きとして編まれた「二宮翁夜話」の中で事実を確認できる。

それにつけても、“なすび”を口にすることで「冷夏」を確認し、この危機に備える迅速な指針によって多くの農民を餓死から救った尊徳の危機感覚は、単なる直感の産物ではなく、常時、危機意識を研ぎ澄まされていたことの経験の結果であろう。時に人間は、かくも素晴らしい、と言うよりむしろ荘厳ですらある。

このほか先述の書物において、二宮尊徳の自然観や労働の意義といった点でも鋭い指摘が記録されている。

二宮翁いわく、自然は確かに恵み多きものであるが、すべて受身で自然任せの状態であれば、自然というものは過酷なものであり、人間に「実り」など与えてはくれない。作物が育ちやすいように雑草を抜き、肥やしを与えるなど、自然に大きく逆らわないかたちで「働きかける」ことがなければ人間にとっての恵みは生まれぬ。

総じて人間の「労働」は、例えてみれば「水車」のようなものである。水車は川の流れの中に下半分を沈め、これに逆らうことなく流れの方向に回転している一方、水車の上半分は水中に沈まず、流れとは反対の方向に動いていることがわかる。

水車全体が流れに飲まれて沈んでしまえば、流されてしまう。一方、流れに完全に逆らって浮き上がってしまえば、もちろん水車は回らない。すべては自然に従いつつ、これと対峙するような人間の「働きかけ(労働)」があつて成り立っているのである。

このように二宮尊徳の自然観・人生観は大変含蓄のあるものであり、「従いつつも働きかける」という人間活動の本来の道理を自覚させられる次第である。

最後に、人材育成に関しても尊徳は明言する。

人間の器量は生まれながらにして大きさが決まっているというものではない。育成次第で大きくも小さくもなるものである。農政家として若き農民を育成し率いてきた尊徳の自信と誇りが伺える気がする。

このように銅像の金次郎を超えて農政家・思想家として大きく開花した二宮尊徳の人物像は、我々企業人にとっても偶像に納まりきれない巨人像として、心の庭にそびえている。

編集委員 瀬川 雅靖

- 〈編集委員会〉  
 編集委員長 門前 昌志 (阪神化成工業株)  
 編集委員 喜多 進 (株大樹)<